

EPAハノイ便り

号外

平成 29 年 3 月
ARC ベトナム校
4 陣任意学習 発行

EPAベトナム第四陣候補者

天皇皇后両陛下との交流会に参加

平成二九年三月二日、天皇皇后両陛下がベトナムを訪問され、文廟で交流会が行われました。EPA候補者も交流会に参加し、天皇皇后両陛下とお話をすることができました。



天皇陛下と会話をしている14組のハインさん

交流会にはEPA4陣を代表して、ブイ・ティ・トウエツトさん、ダオ・ティ・ホア・マイさん、グエン・ティ・ハインさん、レー・スアン・チュンさんが出席しました。とても短い時間でしたが、天皇皇后両陛下

下は候補者一人一人に声をかけてくださいました。***

天皇陛下： どうして日本へ行きますか。

チュンさん： 日本のお年寄りの役に立ちたいし、ベトナムと日本の懸け橋になりたいと思っていますからです。

天皇陛下： 日本語の勉強はどうか。

マイさん： 私にとって、初めは本当に難しかったです。毎日勉強を続けて、だんだん好きになりました。

天皇陛下： 日本語の勉強で、何が一番面白いですか。

トウエツトさん： 私にとって、漢字の勉強が一番面白いと思います。漢字を勉強するとき、人と物の形を想像しながら漢字を書きます。本当に面白いです。

天皇陛下： 介護についての試験がありますね。難しいですね。

ハインさん： はい。国家試験はとても難しいと思います。しかし、日本で長く働きたいので一生懸命頑張りたいと思っています。

天皇陛下： 日本で仕事をして、勉強も頑張ってくださいね。

ハインさん： はい。ありがとうございます。



日本のテレビ局のインタビューに答えるEPA候補者

交流会の後、日本のテレビ局インタビューで感想を聞かれた候補者は、

「私は陛下にお目にかかれて光栄でした。とてもうれしかったです。陛下と話せることは一生に一回だけだと思います。それで、すごく緊張して、少し心配しました。でも両陛下はとても優しい方で、握手をしながらうまく話せました。言葉が出ないくらい幸せでした。(ハインさん)」

「陛下にお目にかかれてとても光栄です。両陛下はとても親切で、楽しく話してくださいまして、うれしかったです。両陛下の期待に答えて、これからも頑張っていきます。いい思い出になりました。チュンさん」と、日本語で堂々と答えることができました。

交流会の前には、遠藤校長から直接ご指導をいただいたき、自信を持って臨むことができました。



パーティーでの遠藤校長(右上)、
文廟で武井局長と候補者(右下)、
研修所で指導を受ける候補者と遠藤校長(上)